

リユースプラザ津山「くるくる」の活用実態に迫る！

山下にあるリユースプラザ津山「くるくる」は今年、開設から13年を迎えます。

リユース・リサイクルの施設として、年間約3万人（延べ人数）の市民の皆さんに利用していただいています。利用者からは欲しい物や掘り出し物が見つかった、自分では使わない物がごみにならず利用してもらえた、などの喜びの声をお聞きしています。

今回、調査隊では、たくさんの人に「くるくる」の楽しい利用方法をお伝えするために、取材に行ってきました。



利用者Aさんの声



「くるくる」にて帯を見つけました。何になるかなとわくわくしながら持って帰りました。織り糸を解くと裏地と織り糸が沢山出てきました。帯の幅をそのまま生かして、手さげ袋を作ることにし、裏地も袋の裏地に使用することで、無駄なく帯を使うことが出来ました。

またある日は、子どもが大切に着ていた服を誰かに使ってもらいたいと思い、持っていきました。その時、ちょうど揃いの汁椀が5客ありましたのでこれだけですか？と聞くと、まだありますと言われ、揃いで25客ありました。これは「こけないからだ体操」などの会食のときに使いたいと買って帰りました。



利用者Bさんの声

「くるくる」の抽選で当たり、800円で自転車を買いました 🎵



Q. 持って行った物がありますか？

A. 服と食器です。



Q. その他に買ったりもらったりしたものはありますか？

A. スチームクリーナーと食器類。特にスチームクリーナーは欲しかった物で、低価格で手に入り助かりました。

大活躍
しています！

Q. 「くるくる」の良いところはどんなところですか？

A. 低価格又は無料で欲しいものが手に入る。また、不要品がリユースしてもらえること。あと、街中にあること。

Q. 「くるくる」がもっと良くなるためにはどうしたらよいと思いますか？

A. 車に荷物を載り降しするために「くるくる」の前にもう1台でも駐車できるスペースがほしい。